

2級昇級の  
ご報告



サッカー2級審判員

佐野湧太

サノ ユウタ



この度、2級審判員に昇級致しました佐野湧太と申します。  
まず、今回の昇格に際し、日頃から温かくご指導いただいております兵庫県サッカー協会、神戸市サッカー協会をはじめとする関係者の皆様、インストラクターの皆様、そして先輩審判員の皆様に心より御礼申し上げます。

私自身、サッカーを始めた中学・高校時代はサッカーの本当の魅力を十分に理解できておりませんでした。大学・社会人になり、Jリーグの観戦や自身でのプレーを通じて、その奥深さに強く魅了されるようになりました。そんな中で、選手としての道には限界があっても、「審判員としてなら、より高いレベルのフットボールをピッチの間近で体感できるのではないか」と考えたのが、審判の道を志したきっかけです。

活動を重ねるうちに審判という役割そのものの魅力に心を奪われ、より高いレベルを目指したいと思うようになりました。初めて主審を担当した試合での大きな失敗は、今でも私の原点であり、成長の糧となっております。

2級審判員昇級としては決して若くない年齢です。現状維持に留らず、成長していくにはより一層の努力が必要で、ここからが本当のスタートであると身の引き締まる思いです。まだまだ未熟ではございますが、これからも向上心を絶やさず、謙虚さを忘れずに、育てていただいた兵庫県、神戸市に恩返しができるように、一つ一つの試合に全力で向き合ってまいります。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

2級昇級の  
ご報告



サッカー2級審判員

延原 輝

ノブハラ アキラ



この度、2級審判員に昇級させていただきました、延原輝と申します。まず初めに、2級審判員昇級にあたり、ご指導・ご支援をいただきました兵庫県サッカー協会の皆様、各都市協会の皆様、インストラクターの皆様、研修会を運営してくださった審判委員会の皆様、そして私が担当した試合で関わってくださった審判員、選手、指導者、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

私はこれまでサッカー選手として競技に取り組んできた経験があります。その経験を通じて、選手の気持ちや試合の流れを理解し、選手が安心して全力を発揮できる環境をつくることを意識しながらレフェリングに取り組んできました。しかし、審判活動を続ける中で、正しい判定を下す難しさや、ポジショニング、マネジメント、競技規則の理解など、自分自身に多くの課題があることも実感しました。

そのような中で、多くの先輩審判員やインストラクターの皆様からの確なご指導をいただき、一つひとつ課題を改善しながら成長することができました。試合後の振り返りや研修会での学びは、自身のレフェリングを見直す大変貴重な機会となり、今回の2級昇級につながったと感じています。

今回の昇級は一つの通過点であり、決してゴールではありません。2級審判員としての自覚と責任を持ち、これまで以上に競技規則への理解を深めるとともに、体力の向上や判定の精度、試合をコントロールする力を磨き、選手や関係者から信頼されるレフェリーを目指して努力を続けてまいります。また、サッカー経験を生かしたレフェリングを大切にしながら、常に向上心を持って一試合一試合に真摯に取り組み、さらなるレベルアップを目指して精進してまいります。

最後になりますが、これまで支えてくださった皆様への感謝を忘れることなく、今後も謙虚な姿勢で学び続けてまいります。引き続き、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。